

教科	公民	科目	現代社会	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	高等学校 新現代社会 (帝国書院)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

・現代の社会において、自分もその構成員の一人であるという自覚を持ち、他者と共に生きていくにはどのようにすれば良いのかを考えます。

・現代の社会には様々な問題があります。それらの問題に直面したときに、どのように対応していくのか。現代の社会を生き抜くために必要な基礎的な知識 (労働・経済・政治を中心) を身につけます。

・高校卒業後、就職や進学と様々な道を進んでいく中で、自分はどんな人間であるのか。これからどのような生き方・在り方をしていくのか。先人の生き方や在り方を感じながら、自分という「人間」について考えます。

2 学習の到達目標

人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って現代の社会と人間についての理解を深め、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに、自ら「人間」としての在り方・生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考えようとする態度と民主的・平和的なよりよい社会の実現に向けて参加・協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現する。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付ける。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄や学び方を理解し、その知識を身に付けている。

評価方法	授業態度 レポート ワークシート ノート提出 発問評価	授業態度 レポート ワークシート ノート提出 発問評価 小テスト	授業態度 レポート ワークシート ノート提出 発問評価	授業態度 レポート ワークシート ノート提出 発問評価 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

ステージ	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	現代社会の諸課題と	現代社会の諸課題	◎			○	a:社会に存在する問題が自らにとって身近なものであるという意識を持つことができる。 d:現代の社会にはどのような問題が存在するのかを理解することができる。	授業態度 レポート ワークシート ノート提出 発問評価 小テスト
	現代の社会と自己実現	青年期の意義 1 青年期について考えよう 2 悩むことについて考えよう 3 男女について考えよう 4 社会参画について考えよう	○	◎			a:青年期を生きる自分たちについて意欲的に考えることができる。 b:青年期特有の悩みにどのように対処するのかを考える。一人前の人間として自立するにはどのようにすれば良いのかを考えることができる。	授業態度 レポート ワークシート ノート提出 発問評価 小テスト
		よく生きるとは 1 生きることについて考えよう 2 学ぶことについて考えよう 3 他者と共に生きることを考えよう 4 宗教について考えよう 5 日本人の思想について考えよう 6 日本の伝統と文化について考えよう	○	◎			a:様々な考えを学び、自分という人間について意欲的に考えることができる。 b:自分は社会の中でどのような立場であるのか、これからどのように生きていくのかについて、深く考えることができる。他者と共に生きるために必要なことは何かということについて考える。	

	現代の民主政治と民主社会の倫理	民主社会の原理と日本国憲法 1 近代立憲主義の原理 2 近代立憲主義の広がり 3 日本国憲法 4 平等権と差別 5 自由権 (1) 6 自由権 (2) 7 社会権、参政権、国務請求権 8 広がる人権の考え方	○	◎	○	a : 憲法の基本原理を自身の生活と関連付けて意欲的に考えることができる。 b : 人権問題に関心を持ち、自身の考えを他者に伝えることができる。 d : 憲法の原理について基礎的な知識を理解することができる。	授業態度 レポート ワークシート ノート提出 発問評価 小テスト	
	現代の民主政治と民主社会の倫理。	日本の政治機構と政治参加 1 国民主権と議会制民主主義 2 国会のしくみと役割 3 内閣と行政の役割と責任 4 世界の政治体制 5 司法の役割と責任 6 地方自治の役割 7 政党政治のしくみとマスメディア 8 選挙制度とその課題 9 平和主義と日本の防衛政策 10 これからの日本の安全保障	○	○	◎	a : 憲法の基本原理や政治のあり方を学び、自身の生活と関連付けて意欲的に考えることができる。また、日本国憲法の平和主義の特色と自衛隊、日本の安全保障についてはさまざまな立場からの意見があることを意欲的に追求する。 b : 模擬選挙や模擬裁判を通じて、社会の問題に関心を持ち、自身の考えを他者に伝えることができる。 d : 選挙制度など基礎的な知識を理解することができる。	授業態度 レポート ワークシート ノート提出 発問評価 小テスト	
2	現代の経済と国民の福祉	市場経済のしくみ 1 経済活動と市場経済の考え方 2 市場のメリットと限界 3 経済の変動 4 企業の役割 5 中小企業と農業の問題 6 金融の役割 7 政府と財政の役割 8 財政の課題		○	○	◎	b : 自分の生活と経済がどのように関連しているのか、これからどのように関わっていくのかを考える。 c : 教科書に掲載されている資料を適切に使用し、市場経済や金融について理解することができる。 d : 私たちの生活と密接に関わる経済について学び、企業の社会的な役割や市場の仕組みについて理解する。また、財政の仕組みや税についての基礎知識を理解する。	授業態度 レポート ワークシート ノート提出 発問評価 小テスト

